
アテンション・エコノミー時代の炎上構造と実践的対策を学ぶ 法人向け「SNSリスク&トレンド研修(30万円)」を提供開始 ～最新事例から広報・経営層が“今”備えるべきリスクマネジメントを解説～

企業の広報・PR支援を担う株式会社シブード(本社:東京都中央区、代表取締役:船木芳雄・船木真由美)は、企業の経営層・広報担当者・マーケティング部門を対象に、SNSの最新トレンドと炎上時における企業リスクとその対策方法を体系的に学べる「SNSリスク&トレンド研修」を提供開始します。

SNSは企業にとって重要な情報接点となる一方、感情や価値観が瞬時に増幅される「アテンション・エコノミー」の空間でもあります。また、投稿の意図とは異なる文脈で拡散されることや、一部の発信者の影響力が議論を加速させる構造も顕在化しています。

本研修は、SNS活用を推奨・否定するものではなく、アテンション・エコノミー時代のSNS活用におけるメリット・デメリットを整理し、企業が「活用すべきか」「距離をとるべきか」、自社の方針を考えるための判断材料を提供することを目的としています。



■ サービス提供の背景

近年、SNSを通じてニュースや社会トピックスなどを情報収集する人が増えています。特にXをはじめとするSNSは、ニュースの一次流通経路として機能し、マスメディア報道よりも先に世論が形成されるケースも増えています。その結果、企業対応の初動がブランド評価を左右するまでの時間は、これまで以上に短縮されています。

このため、SNSは企業が顧客との接点を広げ、ブランド理解を深める機会を生み出す一方、企業や個人が投稿した内容が瞬時に拡散し、意図しない形で議論が過熱するなど、固有のリスクも内包します。

また、社会的なテーマがSNSで急速に話題化する例が増える一方、企業の初動対応や言葉選びがブランド信用に大きく影響するケースも見られ、広報・経営層にとってSNSとの向き合い方はますます難易度を増しています。

こうした状況下で企業が重視すべきなのは、「SNSを活用すべきか」ではなく、感情と注目が最優先される環境において、その特徴・メリット・デメリットを正しく理解したうえで、相応しい姿勢と最適な距離感を選択することです。

本研修は、SNSの拡散構造、炎上のメカニズム、成功例・失敗例、ユーザーの情報行動などを中立的に整理し、企業が広報戦略・リスク管理の両面から意思決定を行うための視点と判断軸を提供します。

■ 研修概要：SNSリスク&トレンド研修(2時間程度)

<目次構成>

1) SNSについて(最新トレンド・主要SNSの特性)

- ・主要SNSの役割と利用者数の推移
- ・Xが依然としてニュース流通の中心である理由
- ・社会性テーマが話題化しやすい理由

2) SNS運営上のリスク(炎上・誤情報・ブランド毀損)

- ・SNSリスクの現状と構造理解
- ・炎上ケーススタディ
- ・初動対応と予防設計の重要性

3) 良い反響を得るためには

- ・“SNSでニュースを取得するユーザー”へのアプローチ
- ・「面白いネタ」を記事化→SNS拡散の導線設計
- ・“話題化”を生む構造と記事化のポイント

■ 本研修の特徴

1) SNSのメリット・デメリットを“フェアに整理”

SNS活用を推奨・否定するのではなく、特性・利点・リスクを中立的に提示し、企業が主体的に判断できる状態づくりを支援します。

2) 広報・PRの知見とSNS特性を融合

当社は、広報担当者育成サービス「広報・PRの家庭教師」を通じて多くの企業の広報体制を支援してきました。その知見を生かし、SNS特有の構造・動向を広報のプロの視点で整理します。

3) 経営層・広報部・マーケティング部門の“共通言語”を形成

SNSをどの程度活用するか、リスク管理をどう設計するかを議論する際の基礎理解を揃えることで、社内の意思決定が円滑になります。

4) 活用方針の見直し・撤退判断にも役立つ

「積極活用すべきか」「距離を置くべきか」「縮小すべきか」など、企業がとり得る選択肢を広げるための“判断材料”を提供します。

■ 株式会社シップード 代表取締役 船木真由美・船木芳雄コメント

SNSが社会や企業評価に与える影響は年々拡大し、企業広報においても避けて通れないテーマとなりました。情報が瞬時に拡散する一方で、誤解や感情的な反応が大きな影響を与えるケースも増えています。私たち自身もSNS上での誹謗中傷を経験し、当事者としてその拡散構造と影響の大きさを実感しました。

SNSはもはや単なる情報発信ツールではなく、注目が経済価値を生む空間です。その中で企業が感情の渦に巻き込まれることなく、冷静に自社の立場を整理できる状態をつくることが重要だと考えています。

今回提供開始するSNSリスク&トレンド研修は、注目が経済価値を持つアテンション・エコノミー全盛時代において、自社としてどの距離感で向き合うべきかを整理するための視点と判断軸を提供します。本研修が、広報・経営層の皆様が冷静に現状を捉え、自社にとって最適な発信方針とリスク設計を主体的に選択するための一助となれば幸いです。

■ 対象

- ・企業や省庁・自治体の広報・PR担当者
- ・企業の経営陣や役員
- ・SNS運用方針を見直したい企業
- ・炎上対策や危機管理を強化したい企業
- ・広報組織を立ち上げ中の企業

■ 料金・所要時間

料金: 30万円(税別)／回

時間: 2時間程度

※参加人数に制限はありません。

※内容は企業の課題に応じてカスタマイズ可能です。

■ お申し込み: <https://shipood.com/contact/>

お問い合わせ後、担当者より折り返しご連絡のうえ、打ち合わせ日時を調整いたします。

■ 株式会社シップード 会社概要

株式会社シップードは、企業の広報・PR組織づくりを支援する「広報・PRの家庭教師」サービスを中心に、広報人材の育成、PR実務の内製化、広報戦略の設計などを行うPRコンサルティング会社です。これまで多くの企業の広報立ち上げ期を支援してきた知見を生かし、広報体制の構築から記者との接点創出、情報発信力の強化まで、企業が自走できる広報機能の確立をサポートしています。

また、自社開発のオンライン広報サービス「PRONE(プロネ) <https://prone.jp/>」を運営し、企業と記者をつなぐ効率的な情報流通の仕組みづくりにも取り組んでいます。PRONEは、リリース配信から成果確認、記者情報の管理までを一元化できるクラウド型サービスで、全国約1,500社の広報担当者に活用されています。

会社名: 株式会社シップード

代表者: 代表取締役 船木芳雄・船木真由美

設立 : 2011年2月21日

所在地: 東京都中央区銀座1丁目12番4号 N&E BLD.6F

資本金: 1,000万円

HP: <https://shipood.com/>

事業内容:

- 企業向け広報・PR支援: 「広報・PRの家庭教師」「まるごと広報支援」事業
- オンライン広報サービス「PRONE(プロネ)」事業の開発・運営

【お問い合わせ先】

株式会社シプード 広報

E-mail: pr@shipood.com